

大学受験世界史

世界史探究に対応しています。

※歴史総合を選択している方は、近現代史を中心に学習してください。

大学入試に必要な世界史の項目を一気に攻略するための教材です。早稲田・慶応・同志社などの超難関大学以外を受験する方は、合格点確保のための知識は十分習得できますから、後は過去問で総仕上げをしておけば、だいじょうぶです。

■□■ 目次 ■□■

各単元内の学習項目は、TLTソフトの解説もしくは問題データの一部を自動的に抽出したものです。

1. 人類の出現と進化

霊長類ヒト科の動物である人類の特徴は、直立し…
 最古の人類として、アフリカのエチオピアで発見…
 現在のインドネシアで見つかった()や中…
 約 70 万年前に出現した原人は、脳容積が(…
 更新世後期の初めごろ(約 20 万年前)に現れた…
 ホモ=サピエンス=ネアンデルターレンシス(ネ…
 更新世の末期(約4万～1万年前)には、ヨーロ…
 クロマニヨン人や周口店上洞人に代表される(…
 更新世が終わって後氷期になると、気候が温暖と…
 完新世(約1万年前)になるとユーラシア北部で…
 人類がもっぱら打製石器を使って採集・狩猟生活…

2. 先史文明

前 7000 年ごろ、西アジアから東地中海地域を…
 西アジアから東地中海においては、前 7000 年…
 新石器時代における初期の農法は、主として雨水…
 初期の農村は農牧による生産と()を中心…
 前 5000 年ごろの初期農村では、()土…
 ()石斧と彩色や線刻の文様を持つ土器を…
 新石器文化としてまた、乾燥した草原地帯には(…
 人類が採集・狩猟の生活から農耕・牧畜の生活に…
 人種は生物学上の特徴をもとにした分類であり、…

3. 古代オリエント

大河を利用して()農業を発達させたメソ…
 ()政治にもとづくシュメール人の都市国…
 アッカド人が滅んだあと、セム系のアムル人が(…
 ハムラビ王が()をはかるために制定し…
 早くから鉄製の武器を用いた()人は、前…
 南メソポタミアでは、バビロン第1王朝が滅んだ…
 メソポタミアでは、シュメール人の始めた(…
 エジプトでは、「()」というヘロドトス…
 エジプトでは前 3000 年ごろに() (王…
 エジプト王朝第2期の()は、シリア方面…
 前 14 世紀、新王国の() 4世は従来の神…
 新王国時代には主神の太陽神()がテーベ…
 エジプト文字のうちの()は、おもに碑文…
 エジプトで使用された一種の紙を()とい…
 セム系の()人は、前 1200 年ごろから…
 セム系の()人は、()やティルス…
 フェニキア人はカナーン人の使用した()…
 セム系の()人は前 1500 年ごろパレス…
 前 1000 年ごろにヘブライ人の国家は王政とな…
 ヘブライ人の王国が南北に分裂したあと、南の(…
 ヘブライ人は()の神だけを信じ、出エジ…
 ()人は出エジプトやバビロン捕囚などの…
 ヘブライ人の伝承、神への讃歌、預言者の言葉な…

前7世紀前半に()が全オリエントを征服…
アッシリア帝国崩壊後に分立した4王国のうち、…
前6世紀の半ばごろ、ペルシア人が()朝…
ダレイオス1世は、全国を約 20 の州に分け、各…
約 200 年間にわたってオリエントを支配した…
ペルシア人の宗教である()では、この世…

4. ギリシア世界

前 20～前 12 世紀の地中海東部に栄えたヨーロ…
エーゲ文明のうちの()は、クレタ島の(…
前 15～前 13 世紀ごろギリシア本土の(…
クレタ文明やミケーネ文明と並んで、小アジアの…
ギリシア人は前 20 世紀ごろから南下定住を始め…
ミケーネ文明滅亡後、数世紀間の暗黒時代をへて…
ギリシア人のポリスにおける集住(シノイクスモ…
ポリスの間には戦争が頻発したが、ギリシア人た…
前7世紀ごろまでに貴族が支配して各地に(…
前6世紀初めのアテネでは、()が貴族と…
貴族政治から民主政治への過渡期に、貴族政権を…
僭主政治のあと、アテネでは()が(…
前5世紀初めごろ、アケメネス朝ペルシアの支配…
前 490 年、アテネはペルシア軍の侵入を(…
アテネはペルシアの報復に備えて結成した(…
ギリシアの民主政治では、ほとんどすべての官職…
ドーリア人のポリスであるスパルタでは、参政権…
ペルシアの報復に備えてギリシア諸都市が結成し…
前 431 年にスパルタ側とアテネ側との間に起…
前4世紀に()が一時スパルタに代わって…
前4世紀後半、北方の() (国名)の(…
アテネのデモステネスはマケドニアの侵入に対し…
ギリシア人が信仰した神々を()12 神と…
()はトロヤ戦争を題材に叙事詩『イリア…
ギリシアでは前7世紀ごろから人間の個性にめざ…
アテネでは前5世紀に演劇が栄え、()…
()やプラクシテレスらの作った写實的で…
ギリシア建築はおもに柱の様式により、荘重なド…

前6世紀初め、自然の本質を合理的に探究する(…
民会や法廷での弁論を教える職業教師を(…
ソクラテスの弟子の()はポリスの理想的…
自然哲学の流れから自然科学もおこり、(…
市民の中には、ペルシア戦争史を物語風にした…

5. ヘレニズム世界

()大王は前 334 年～前 324 年、…
アレクサンドロス大王の死後、部下の将軍たちは…
アレクサンドロス大王の東方遠征からプトレマイ…
ヘレニズム時代にはギリシア文化が東方に広く普…
ヘレニズム時代にはギリシア人としての民族的意…
ヘレニズム時代には、アレクサンドリアの王立研…
()は数学・物理学の諸原理を発見し、ま…

6. ローマ帝国の成立と発展

ローマは、イタリア人の一派の()人がイ…
ローマは、共和政をつくったころ貴族と(…
中小農民を主体とする平民が()として国…
前5世紀半ばにローマ最古の成文法である(…
ローマは、アテネと違って()国であった…
ローマは被征服地の待遇に差別を設ける(…
ローマの急速な対外発展の裏で、()歩兵…
前2～前1世紀のローマは()制の最盛期…
ローマの危機をくいとめようとした()兄…
前1世紀の初めは、ローマ市民と等しい権利を要…
前 60 年、平民派の()と大富豪の(…
第1回三頭政治の取り決めにより、カエサルは任…
カエサルは独裁に走ってブルートゥスらの(…
オクタヴィアヌスは、前 31 年東方でプトレマイ…
オクタヴィアヌスは元老院から() (尊厳…
オクタヴィアヌス帝の時から()の時代が…
帝政時代にはロンドン・パリ・ウィーンなど今日…
五賢帝最後の()帝の治世の末ごろから帝…
3世紀末、()帝がローマ帝国内の混乱を…
()帝は、帝国統一の必要から従来の皇帝…
コンスタンティヌス帝も帝国の解体を防ぐことは…

西ローマ帝国は国境守備の傭兵などに要する費用…
西ローマでは、大所領内では、隷属的な…
ローマには叙事詩『アエネイス』でローマの建国…
()派の哲学は上流社会の実践倫理として…
ローマの歴史家には、『ローマ史』を著した…
()は『博物誌』を著してギリシア以来の…
()法に始まるローマ法は、後世に大きな…
6世紀前半に東ローマの()帝は、トリボ…
ローマ人は土木建築にすぐれ、闘技場・凱旋門…
カエサルはエジプトの太陽暦を修正して…

7. キリスト教の成立と普及

パリサイ派(ユダヤ教の一派)の偽善と戒律主義…
キリスト教は()・パウロなどの(…
イエスの言行を記した『()』や、ペテロ…
ローマ帝国において西半分を支配していた(…
325年、コンスタンティヌス帝はキリスト教…
ニケーアの公会議で正統教義とされたアタナシウ…
西ローマで、()と呼ばれて正統の教義の…
公会議がしばしば開かれてさまざまな説が異端と…

8. イラン文明

前3世紀ごろ、イラン系遊牧民の族長()…
イラン系の遊牧民の国パルティアは、226年…
ササン朝ペルシアは、()を国教に定めて…
ササン朝ペルシアは5世紀の後半、中央アジアで…
ササン朝は()を国教とし、経典『(…

9. インドの古典文明

前2300年ころから前1800年ころまでに、…
中央アジアからインドに侵入してパンジャーブ地…
()制(ジャーティ)は、四つの基本的な…
ヴァルナ(種姓)には、最上位の() (司…
バラモンがつかさどる()にもとづく宗教…
前500年前頃に()の階級に属する(…
()族の王子ガウタマ=()は仏教…
()教と仏教はクシャトリアと()…
北インドの()国はコーサラ国を破ってガ…

マガダ国の()朝を倒したチャンドラグプ…
マウリヤ朝のアショーカ王は() (法)に…
アショーカ王の死後マウリヤ朝の統一は急速に失…
インドの西北部でおこったクシャーナ朝は、ガン…
カニシカ王も信仰したクシャーナ朝時代の仏教は…
クシャーナ朝の仏教徒は()文化の影響を…
南インドでアーリヤ人の文化の影響のもとに建国…
3世紀に入るとクシャーナ朝は衰え、北インドは…
北インドのグプタ朝は、()2世の時代に…
グプタ朝では、仏教とならんで当時民衆のあいだ…
グプタ朝以来、民衆の仏教信仰は急速に衰えたが…
グプタ朝はインド古典文化の黄金期で、(…
ヒンドゥー教徒にとって、ヴェーダとならぶ事実…
グプタ朝は5世紀後半から衰えはじめて、(…
ハルシャ=ヴァルダナ(戒日王)は中国の(…

10. 東南アジアの諸文明

紀元前4世紀頃かから紀元1世紀頃にかけて雲南…
インドシナ半島では、1世紀ごろからインド文化…
6世紀ごろ、インドシナ半島のメコン川中流域に…
7世紀に入ると、インドシナ半島のチャオプラヤ…
インドシナ半島では、11世紀にイラワディ川の…
7世紀に東南アジアのスマトラ島東南部に(…
8世紀なかごろから9世紀前半にかけて、東南ア…

11. 中国古代文明

前5000～前4000年ごろから、黄河の中…
彩陶文化は、河南省にある代表的な遺跡の名から…
中国において、現在確認できる最も古い国家は(…
殷王朝では、農事・軍事などの主要な国事につい…
前11世紀ごろ、陝西の渭水流域におこった(…
周では、王の一族や功臣などに封土を与えて世襲…
周の時代におこなわれた封建制度は、血縁を中心…
前8世紀に入ると、周は異民族に侵入されて東の…
戦国時代に入ると、()とよばれる齊・楚…
戦国時代には、()農具が普及して犁を牛…
春秋時代後期の孔子は、社会秩序の基礎を「仁」…

儒家を批判する立場に立って無差別の愛と相互扶…
法によって国内の統治をはかろうとする(…
諸子百家の中には、論理学を説いた公孫竜の名家…
前 221 年、秦王の()は中国を統一し…
始皇帝は、貨幣・度量衡・文字の統一などを行っ…
始皇帝の死後まもなく()・呉広の乱が起…
漢の高祖劉邦は、()制と封建制を併用し…
漢の武帝は、中央集権体制を確立して領土の拡大…
武帝が匈奴をはさみ討ちするために()を…
前漢の武帝は、東北方面で()朝鮮を滅ぼ…
大規模な遠征による財政難を打開するため、武帝…
前漢は前1世紀の半ばごろから皇帝の権力が衰え…
新は()の乱などによってたちまち倒れ、…
はじめ内政に力を入れた後漢は、まもなく匈奴を…
2世紀半ば大秦国王()の使いと名のる者…
後漢は2世紀に入ると()や外戚が勢力を…
漢の官吏任用方法は()という地方長官の…
前漢の武帝のときに()のすすめによって…
漢の時代の歴史書として、司馬遷の『()…
秦漢時代は()・漆器・金属器などにすぐ…

12. 騎馬民族

前6世紀ころ南ロシア草原地帯を支配した(…
紀元前4世紀ころより中国北方で活動していた(…
中継貿易によって利益をえていた()は、…
匈奴が衰えたのちの内陸アジアでは、4世紀ころ…
中央アジアでは、6世紀ころからトルコ系の(…

13. オアシスの民

東西を結ぶ道の沿線にあるオアシス都市に興亡し…
中央アジアのオアシス地帯を経由して東西を結ぶ…
9世紀なかごろウイグルがキルギスにほろぼされ…
トルキスタン地域へのイスラーム勢力の進出は、…

14. 中国王朝の興亡と北方民族

民間信仰による宗教的結社である()の首…
華北を根拠地として後漢にかわった()の…
魏の将軍()の建てた晋(西晋)は中国を…

匈奴・()・羯・□・羌の五胡が建てた多…
北魏の()帝は、()制や三長制を…
華北を北魏が統一しようとしていたころ、江南に…
三国の魏より官吏の任用制度が従来の郷举里選に…
富国強兵策として、魏では()制、西晋で…
三国時代から南北朝時代にかけて江南では呉・東…
六朝文化における文学では、「帰去来辞」を著し…
六朝時代の絵画には女子箴図を作った()…
六朝文化における学問・思想では、儒学はふるわ…
仏教においては、()や鳩摩羅什が西域か…
仏教遺跡として名高く、絹の道の門戸である(…
仏教の隆盛に刺激されて成立した()は、…
前1世紀ころおこった()は4世紀初めに…
高句麗・新羅・百済の三国時代のころ、(…
『魏志』倭人伝によると3世紀ころの日本は多く…

15. 隋・唐の興亡

北朝(北周)から出た隋の() (楊堅)は…
隋の文帝は、貴族の権力を弱めるために均田制を…
隋の文帝の子()は、()をひらい…
モンゴル高原では、5世紀にモンゴル系の(…
6世紀末、突厥は内紛によりモンゴル地方の東突…
() (唐の高祖)は、618年に隋を倒…
唐は隋の制度を採用しつつ、中央に()…
中央に三省・六部・御史台を設けて地方に州県制…
唐は、則天武后や韋后による武韋の禍の混乱をへ…
宦官の台頭や独立化した節度使により弱体化した…
隋唐の()は、その人1代に限って土地を…
府兵制は()制の発達により8世紀なかご…
唐代には陸路による東西貿易が発達し、ソグディ…
()代文化の特徴は貴族趣味と異国情緒に…
唐代の文章においては、() (韓退之)と…
唐代の絵画は仏教関係の壁画が発達するとともに…
唐代の()学は、孔穎達らの『()…
仏教は帝室・貴族の保護をうけて栄え、『大唐西…
唐代には、キリスト教の一派の() (ネス…

() (チベット)では7世紀にソンツェン…
8世紀後半、唐とチベットの争いに乗じてチベッ…
朝鮮半島では、()が唐と連合して、百濟…
朝鮮半島に栄えた()の滅亡後、その遺民…
日本は()・遣唐使を送って中国文化の輸…
東南アジアでは、()人が早くから中国と…

16. 北方民族の進出と中国社会の変容

907年、節度使の朱全忠は唐を倒して…
五代十国における諸国の創立者は異民族出身者も…
唐末五代の時代において、貴族は経済上の基盤で…
宋(北宋)の() (太祖)は五代十国の混…
宋は、()と和を結んだいわゆる(…
神宗によって宰相に起用された()は、(…
王安石の新政には、植え付け時の貧農への低利貸…
遼河上流で半農半牧の生活をいとんでいたモン…
遼は、契丹人等の狩猟・遊牧民にはそれらの民族…
宋の西北辺境の陝西・甘肅方面にいたチベット系…
中国東北地方で半農半牧の生活をいとんでいた…
宋が()と結んで遼を滅ぼすと、遼の皇族…
宋は金と結んで遼を滅ぼしたものの金の侵入をう…
金の侵入に際して、高宗は江南にのがれて(…
金は在来の軍制である()・謀克を維持し…
()代における荘園の所有者の多くは官戸…
宋の南渡以来、()地方の開発が進んで米…
宋代には商業への制限がなくなって商業都市が発…
宋代になると商業は大規模になり、金融業者が増…
異民族の圧迫に苦しんだ宋の文化はきわめて(…
経典そのものから儒学の本質を明らかにし…
異民族の圧迫を受けた宋代には民族意識が高ま…
宋代の美術では、山水・花鳥画が発達し、知識人…
宋代の文学では散文が盛んになり、()や…
宋代の宗教では、()が官僚層の支持をう…
宋代には()印刷術が発達し、文化の普及…

17. モンゴル帝国の勃興

モンゴル高原東北部で遊牧していたモンゴル部は…

チンギス=ハン率いるモンゴル騎馬軍は、西トル…
()の率いるモンゴル軍はロシアの大半を…
西アジアにおいては、()がバクダードを…
チンギス=ハンが子供たちに領土を分け与えたこ…
() (世祖)が宗家のハンの位についた1…
チャガタイ=ハン国はハイドゥの乱後()…
世祖()は、中国農耕地帯の富を重視して…
元は中国を支配し、モンゴル人について(…
元における支配者のモンゴル人は数が少なく、中…
フビライの死後、元朝内部では相続争いが続き、…
モンゴル帝国は、初期から交通路の安全を重視し…
モンゴル帝国の時代には、隋代以来の()…
モンゴル帝国の成立により東西文化の交流が盛ん…
モンゴル帝国成立により東西の交通路が整備され…
元代には()の天文学や数学などが伝えら…
イル=ハン国が初期にネストリウス派のキリスト…
西方の優秀な文化に接していた元は、中国文化に…
元代には宋代に続いて戯曲・小説が発達した。戯…
朝鮮では10世紀に()が高麗を建てて開…
ベトナムは11世紀に李朝が成立して()…
雲南では、かつて唐文化の影響を受けて栄えてい…
日本では遣唐使の廃止後も商人・僧侶の往来は続…

18. イスラーム帝国の誕生

アラビア半島の商業都市メッカに生まれたクライ…
ムハンマドはメッカの商人による迫害を受け、…
イスラーム教の経典は()で、()…
ムハンマドの死後、アラブ人は() (後継…
イスラーム教徒の多数派は()と呼ばれ、…
ウマイヤ朝は8世紀初め諸方面に進出し、フラン…
ウマイヤ朝の政策を批判する者が出てムハンマド…
アッバース朝では、()人を中心とする新…
アッバース朝が建国されると、ウマイヤ朝の一族…
アッバース朝は()の時代に栄えたが、…

19. イスラーム世界の繁栄

()と呼ばれるトルコ人奴隷を親衛隊とし…

トルコ人の()朝は東西トルキスタンをあ…
()の率いるモンゴル軍は、アッバース朝…
ガザン=ハンが()・家畜税を主とするモ…
ファーティマ朝を滅ぼしてエジプトにスンナ派の…
アイユーブ朝で組織したマムルーク軍団が 125…
アイユーブ朝からマムルーク朝中期にかけて、歴…
11 世紀半ば、北アフリカ先住民の()は…
イベリア半島では、最後のイスラーム王朝(…
アフリカのナイル川上流の()は、前8世…
()は金を豊富に産し、ムスリム商人によ…
アフリカ東岸では 10 世紀以降ムスリム商人が住…
西アジアのイスラーム社会は、都市を中心に発展…
西アジア社会では官僚制がとどっているあいだ…
10 世紀以後のイスラーム社会では、形式的な信…

20. イスラーム文化圏の拡大

イスラーム教徒による本格的なインド征服が始ま…
ゴール朝の将軍()は、13 世紀の初めに…
インドに侵入したイスラーム王朝は、民衆にイス…
東南アジアにイスラーム教が広まったのは、(…
14 世紀末にマライ半島に成立したイスラーム教…

21. イスラーム文明の特徴と東西交流

イスラーム文明はアラブ人によるイスラーム教と…
イスラーム文明は、本質的に()の文明で…
最初に発達したイスラーム教徒の学問は、アラビ…
イスラーム教徒の学問が飛躍的に発達したのは9…
代数学と三角法は()を始めとするイスラ…
イスラーム教徒はギリシア哲学、特に()…
遠隔地貿易の中の()貿易では、中国・南…
イスラーム教徒は、アッバース朝と唐軍との間の…

22. 西ヨーロッパ世界の形成

アルプス以北のヨーロッパにはもともと(…
ゲルマンの社会は身分の別のある部族社会で、重…
()世紀の後半にゲルマン民族大移動のき…
移動したゲルマン諸族のうち、中部ガリアには(…
()はフン人を率いてビザンツ帝国に侵入…

ゲルマン人出身の傭兵()は 476 年、…
フランク族は()に広がっていたが、5世…
ゲルマン諸族はおおむね、異端とされていた(…
フランクの宮宰()は、732 年の(…
当時のキリスト教会五本山の中でも西方のローマ…
6世紀に()がモンテ=カシノに開いた(…
ビザンツ帝国は、()帝のとき、東ゴート…
726 年、ビザンツ皇帝()3世による…
ローマ教皇に王位を認められたカール=マルテル…
ピピンの子()は、ランゴバルド王国を滅…
()年、ローマ教皇()3世は、フ…
カールの戴冠の結果、ローマ教会はビザンツ皇帝…

23. 西ヨーロッパの中世封建社会

広大な領土を持つにいたったフランク王国は、カ…
現在のドイツにあたる東フランクでは、10 世紀…
現在の()にあたる西フランクでは、カロ…
ヴァイキングと呼ばれる北ゲルマン人の一派は8…
アングロ=サクソン族の()が栄えていた…
ヴァイキングは、北ヨーロッパでは9世紀に(…
西ヨーロッパに成立した封建制度のもとには、ロ…
王、諸侯、()ら封建領主の領地は(…
封建制度のもとでの農民は、領主に対する賦役や…
ローマ=カトリック教会は、封建社会で世俗的権…
1077 年の()とは、()権を世…
1122 年の()協約によって教会勢力は…

24. ビザンツ帝国と東ヨーロッパ

6世紀、()帝は、外では旧ローマ領を回…
6世紀に一時勢いを回復したビザンツ帝国も、そ…
ビザンツ帝国は 10 世紀から 11 世紀にかけて(…
ビザンツ帝国でも農奴制による大土地所有は進行…
ビザンツ帝国の文化は、ローマ的な西ヨーロッパ…
西スラヴ族に属するポーランド人は 10 世紀ごろ…
南スラヴ族のうち、()人はビザンツ帝国…
東スラヴ族の地、東方ロシアにヴァイキングが建…
商業の中心地として力を得た()大公国の…

25. 十字軍と中世都市

()朝の進出になやんだビザンツ皇帝の要…
 第1回十字軍は聖地を回復して()王国を…
 十字軍の間は、聖地への巡礼を保護する(…
 封建社会が安定すると、荘園の余剰生産物を交換…
 遠隔地商業で栄えたイタリアの海港都市には、(…
 イタリア以外の遠隔地商業の中心地としては、(…
 王や皇帝からの()を得て自治権を獲得し…
 都市では商人や手工業者が組合組織()を…
 都市の商工業の発達につれ、莫大な富を蓄積する…

26. 中央集権国家の成立とキリスト教

十字軍以後、教皇の権威は次第に衰えたが、それ…
 教皇権の失墜は、フィリップ4世が教皇庁を(…
 14世紀後半、イギリスの()がカトリッ…
 ローマとアヴィニョンの2人の教皇が対立を続け…
 ()経済の広がりによる経済力の向上、(…
 農民の地位向上に困窮した領主は再び拘束を強め…
 イギリスでは、12世紀の半ばにフランスから迎…
 ()王は、フランス領の喪失、()…
 ヘンリ3世のとき、貴族の指導者()が…
 フランスでは、12世紀の()2世が、都…
 教皇ボニファティウス8世をとらえた()…
 カペー家の母をもつイギリス王()3世は…
 1339年に生まれた()は初めイギリス…
 百年戦争後、イギリスの()家、ヨーク家…
 1485年、()朝を創始したヘンリ(…
 イベリア半島では、キリスト教徒がイスラーム勢…
 カスティア王女()と、アラゴン王子(…
 ドイツは、大諸侯の力が強いが、歴代皇帝が国…
 神聖ローマ皇帝カール()世は、1356…
 中世末期、イタリアには教皇領はじめ多くの国、…
 北欧では、ヴァイキングがデンマーク・スウェー…

27. 西ヨーロッパの中世文化

カトリックの支配下にあった中世ヨーロッパで最…
 神学は十字軍を機にギリシア哲学を取り入れ、実…

中世の大学は教皇や皇帝の特許状によって特権的…
 イギリスは中世最大の自然科学者といえる(…
 中世美術もやはり教会美術を中心に発達したが、…
 中世において、文学は教会の支配を受けない唯一…

28. 東西交流路

内陸アジアの草原地帯の()の道、その南…
 ()の道は、南ロシアからアルタイ山麓を…
 スキタイ人の()文化の影響を受けた草原…
 草原の民族は、アヴァール族、()族など…
 10世紀ころから中央アジアでイスラーム化した…
 ()の道(絹の道)は東西の文化圏を最短…
 オアシスの道が発展、拡大していった例は、前2…
 タリム盆地の南北に点在するオアシス地帯には、…
 隊商民による東西の中継貿易は、オアシスの道を…
 ()の道は、船による輸送によって栄えた…
 海の道の中継貿易地は南()であったので…
 海の道の航海上の要衝として、東南アジアの(…
 1世紀ころ()系商人が活動をはじめ、…
 8世紀からはイラン・()の商人が海上に…

29. 東西の文化交流

文物の交流伝播は、()土器の広範囲な分…
 人類文化の発展に大きく寄与したのは、中国で発…
 ガンダーラ美術や正倉院の宝物にみられる(…
 宗教の東西伝播も重要で、キリスト教の西伝、(…
 モンゴルの時代が終わると、海路の交易が活発に…
 中国から皇帝の使者として西域に赴いた人物に、…
 僧侶の往来では、中国にきた西域僧()…
 ()の商人で「世界の記述」(東方見聞録…

30. ルネサンスの躍動

14世紀ごろ()にはじまり、ヨーロッパ…
 ルネサンスの根本精神は、ギリシア・ローマの古…
 ルネサンスが最初にイタリアに発達した原因の1…
 ルネサンス期の()として有名なのが、ダ…
 ()を中心にルネサンスが開花し、(…
 ネーデルラントの()は、「愚神礼賛」で…

()は「ガルガンチュアとパンタグリユエ…
()は「ドン＝キホーテ」、()は…
ダンテの肖像画を描いた()から新しい流…
16世紀に()、ついでラファエロ、最後…
イタリアの画家では、()の「ヴィーナス…
ミケランジェロは「天地創造」、「最後の(…
ルネサンス期、ネーデルラントでは()兄…
ルネサンスの学者や芸術家の多くは、イタリアの…
ルネサンス時代のイタリアは分裂状態で、(…
ルネサンスの3大発明は()・火薬(火砲…
()によって戦争の方法が一変し、騎士の…
中国で発明され、15世紀なかばドイツの(…
16世紀ポーランド人の()は、天体観測…

31. 大航海時代

15世紀から16世紀にヨーロッパ人は、アフリ…
マルコ＝ポーロの「()」(東方見聞録)…
東方貿易は、()などイタリアの商人に独…
「レコンキスタ」でイスラーム教徒を撃退した(…
ポルトガルの航海王子()の奨励により、…
1498年()は喜望峰を迂回してインド…
()によるインド航路の開拓は、アジア貿…
インド航路の開拓は、ポルトガルの国営事業とし…
スペインの女王()は、フィレンツェ出身…
コロンブスはスペインの()港から出航し…
1500年ポルトガル人()は、航海中に…
イギリス王ヘンリ7世の支援でイタリア人(…
1519年()王室の命令でマガリャンイ…
中米のユカタン半島を中心に、6～14世紀まで…
前1000年ごろアンデス地域に()文化…
インカ文明には()器はなく、独特な(…
1521年()はアステカ族を破ってメキ…
新航路・新大陸の発見で東方貿易が衰え、商業の…
1545年ボリビア南部の()銀山が発見…
大西洋沿岸地域を中心とする世界()圏の…
()革命の影響は、アウグスブルクなどの…

32. 宗教改革

1517年()から起こった()改…
メディチ家の教皇()10世は、サン＝ピ…
贖宥状を売り出した()は政治的に分裂し…
1517年ヴィッテンベルク大学神学教授のマル…
ルターは()権そのものを否定したため、…
1521年神聖ローマ皇帝()5世は、諸…
()5世は、ルターを法律の保護外におい…
1524年からのドイツ()戦争は、(…
スイスでは()が、チューリヒで宗教改革…
()は、神の絶対主権を強調して(…
ルターが()制を維持したのに反して、カ…
フランスのヒューマニストで、ルターの説に共鳴…
ルター派はドイツの諸領邦や自由都市で、スイス…
カルヴァン派は、イングランドではピューリタン…
ドイツでは旧教徒と新教徒との争いが、(…
1555年の()の和議で、()や…
王妃との離婚問題から端を発し、カトリック教会…
ヘンリ8世は首長法で()を廃止して、そ…
()1世はスペイン王フェリペ2世と結婚…
()1世は、1559年()法でイ…
1545年旧教の教義の確認や内部改革・異端な…
新教に対する反宗教改革運動の1つとして、(…
このイエズス会修道士で、インド・日本・中国伝…
反宗教改革の運動によって、旧教徒と新教徒の対…

33. 主権国家体制と絶対王政

教皇や諸侯の権力が衰えてくると、多くの国家の…
封建社会の変質にもなって諸侯は独立性を失い…
絶対主義の国家は、()強兵をめざして国…
絶対主義を確立した国家は、自国製品を売るため…
商人が生産者に原料や用具などを前貸しして、そ…
問屋制度や()手工業は、資本家が労働者…
政治が経済に介入する重商主義政策は、やがて市…
スペインでは、1516年()1世が即位…
ハプスブルク王朝がはじまったころ東方では、(…

1556年ハプスブルク家は、()系とオ…
1580年()の王統が絶えると、フェリ…
カルヴァン派の新教徒が多い()が、カト…
南部10州(フランドル地方)はスペインに屈服…
オランダは、仲介貿易によって富を蓄え、東南…
オランダ独立戦争終結後、フランドルの…
イギリスでは、()戦争による封建貴族の…
()8世は、国教会の行政の頂点に国王を…
15世紀の()(エンクロージャー)によ…
エンクロージャーの訳語が()で、15世…
フランスは()戦争を通じて、国内のイギ…
()9世が王位につくと、1562年以降…
ブルボン家の()4世が王位につくと、国…
アンリ4世にはじまる()朝のもとで、フ…
1643年ルイ14世が即位すると、1648年…
ルイ14世は、宮廷説教師()の王権神授…
ルイ14世は、「自然国境説」を唱え各地に侵略…
ルイ14世は、1700年スペインの()…
ルイ14世のスペイン継承に対して、オーストリ…
ルイ14世は、1685年()の王令を廃…
神聖ローマ帝国が大小の諸侯領の連合体となって…
1618年の三十年戦争は、旧教側に()…
傭兵隊長()の皇帝軍が北ドイツを制圧す…
三十年戦争に()が介入してきたことは、…
1648年()条約で三十年戦争も終結し…
三十年戦争の後、北ドイツでは()(プロ…
プロイセンは、()継承戦争で皇帝を助け…
1740年に即位した()2世は、オース…
オーストリアの継承権を主張する()(バ…
シュレジエン奪回をめざす()は、敵対し…
「君主は国家第一の僕(しもべ)」とする…
オーストリアでは、マリア=テレジアの子…
16世紀にモスクワ大公国の()4世が、…
1613年()朝がおこり、()1…
ピョートル1世は、バルト海域の()のカ…

18世紀後半、女帝()2世は、ピョート…
ポーランドでは16世紀後半()朝が断絶…
ポーランドの愛国者らは、憲法の制定など国力の…

34. イギリス市民革命と議会政治

テューダー朝が絶えると、スコットランドの…
独立自営農民(ヨーマン)のなかには、…
中産階級が成長し、議会によってその権利を伸長…
絶対王政の支柱である国教会に不満な()…
1639年チャールズ1世は長老派(プレスビテ…
国王はヨークに移り戦ったが、議会派にピューリ…
クロムウェルは、立憲王政をめざす長老派を議会…
クロムウェルは、社会変革をのぞむ()派…
クロムウェルは、経済政策の面では()主…
クロムウェルは、()戦争に勝利を収めて…
チャールズ2世が即位したが、絶対王政の復古で…
()2世の即位後も、()の復活を…
1689年、ウィリアム3世とメアリ2世は、議…
イギリスでは、1670年代末ころから、王権を…
ウィリアム3世ははじめ連立内閣を組織させたが…
アンの死後ステュアート朝が絶えたため、ドイツ…
18世紀前半、ホイッグ党の()首相時代…

35. ヨーロッパ諸国の植民地争奪

ポルトガルはインド航路を開拓して、マムルーク…
スペインは、フェリペ2世時代にその名にちなむ…
1602年オランダは東インド会社を設立してア…
オランダはアジアへの中継地として、1652年…
イギリスはアンボイナ事件後、()経営に…
フランスはアンリ4世のもとで創建された東イン…
インドでの英・仏の勢力争いは、()帝国…
スペインは、()を除くラテンアメリカを…
スペインから独立した()も、1621年…
17世紀ごろからフランスは()を中心に…
ピューリタンがイギリスでの迫害を逃れて、北ア…
18世紀、イギリスはフランスに対して…
1763年の()条約でイギリスは、カナ…

ポルトガル人による西アフリカ海岸の探検以後、…

17世紀には新大陸やカリブ海諸島で大農園(…

36. 17～18世紀のヨーロッパ文化

絶対主義の権勢を示すものは、17世紀の豪華壮(…

18世紀には、フランスのワトーの絵画にみられ(…

ルイ14世代に、文学で喜劇作家の()、…

17世紀にイギリスでは、()が「失樂園(…

イタリアの()は「天文対話」で地動説の(…

18世紀には植物学のリンネ、化学の()…

フランシス＝ベーコンは、「新オルガヌム」で経(…

フランスの()は「パンセ(瞑想録)」を…

オランダの()は、「戦争と平和の法」を…

イギリスのジョン＝()は、「統治論二篇(…

自然法思想は、フランスでは経済に適用された。(…

イギリスでは、アダム＝スミスが「()」…

18世紀になると理性によって偏見・迷妄などの(…

()は「社会契約論」、「人間不平等起源(…

ドイツでは絶対主義が、啓蒙主義や自然法思想と(…

37. 明の興亡・清の興隆

紅巾の乱で頭角をあらわした()は、13…

洪武帝は、政治の最高機関である()を廢(…

洪武帝は、軍事面では衛所制を編成し()…

第2代建文帝が諸王抑圧策をとったため、139…

永楽帝は、都を北京とし、親政を補佐する(…

永楽帝の死後官僚の政権争いで乱れはじめ、16…

万曆帝時代、16世紀後半に()による政(…

17世紀初め、顧憲成らの東林派、非東林派に分(…

ツングース系の女真(女直)族は、12世紀に(…

1644年第3代()帝は、明の武将の(…

第4代聖祖()帝は、1673年に雲南(…

()帝は、1680年代アムール川沿いに(…

つぎの()帝は、1727年()条(…

清は18世紀には、直轄領・()・属国と(…

常備軍として、漢人で組織する()を設置(…

明代には、江南を中心に大土地所有と()…

明代には、湖広地方が穀倉地帯となり、宋代以来(…

明代では、茶の栽培や()に代表される陶(…

商業・手工業などの発達は、金融業を中心に活躍(…

明代には、()が主要な貨幣として流通す(…

16世紀から、明では兩税法にかわって(…

清において、ヨーロッパ人との貿易は乾隆帝が、…

清の税制は、18世紀に()を受け継いだ(…

明では()が官学になり、永楽帝が「(…

明末清初には()がさかんになり、李時珍(…

16世紀にポルトガルの中国への来航後、(…

マテオ＝リッチは「坤輿万国全図」を作成し、清(…

イエズス会宣教師の中国での布教活動が、キリス(…

38. 中国周辺諸国の情勢

()は、1624年からオランダ人が貿易(…

明によって、モンゴル高原に後退させられた元朝(…

1449年オイラト部のエセンは、明の英宗を土(…

アルタン＝ハンが黄帽派の()仏教を取り(…

チベットで15世紀に()がチベット仏教(…

明初期に、朝鮮沿岸で()が出現し高麗は(…

朝鮮(朝鮮王朝)は、朱子学を官学とし、(…

朝鮮(朝鮮王朝)の政治を動かしたのは、(…

明の永楽帝は、()で陳朝が滅びると出兵(…

ミャンマーの最初の統一王朝である()朝(…

タイでは、13世紀に()朝が成立して仏(…

ラオスでは、14世紀にラオ人の()王国(…

39. 西アジアのイスラーム王朝

14世紀なかごろに西チャガタイ＝ハン国から獨(…

ティムールは、1402年()(アンゴラ(…

ティムールの中央アジア進出により、イラン＝イ(…

13世紀末に()帝国は、小アジアの(…

1396年()1世は、ニコポリスの戦い(…

オスマン帝国の()1世は、サファヴィー(…

()1世が、1529年()包囲を(…

スレイマン1世は、オーストリアに対抗するため(…

オスマン帝国の()は、絶対専制君主であ(…

1501年イランで成立した()朝は、ス…
サファヴィー朝の最盛期は()1世の時代…

40. ムガル帝国

ティムール朝崩壊後、16世紀はじめティムール…
ムガル帝国の実質的建設者である()は、…
17世紀なかばに即位した()帝の時代ム…
アウラングゼーブ帝の政策は、ラージプート族だ…
アウラングゼーブ帝の死後、デカン・ベンガルな…
デリー=()朝は、住民にイスラーム教を…
現在のパキスタンの言語である()語は、…
ムガル建築の代表的なものには、シャー=ジャハ…

41. アメリカ独立革命

18世紀前半には、北アメリカ東部に()…
13植民地は、()の議会政治にならって…
イギリスは、七年戦争(新大陸では、フレンチ=…
1765年()法には、植民地人のほとん…
1773年()法に対する植民地住民の怒…
1774年植民地側は()会議を開いたが…
1776年トマス=()が「コモン=セン…
独立宣言は、トマス=()らが起草したも…
独立軍は、フランス・スペインの参戦やロシア皇…
13植民地は1777年国名をアメリカ合衆国と…
合衆国憲法は()主義を採用し、行政権は…
1789年初代大統領に()が就任し、連…

42. フランス革命とナポレオン

18世紀後半フランスでの政治・社会体制は、(…
聖職者と貴族は、土地を所有し、官職を独占し、…
第3身分の人々は、当時さかんになった(…
()16世の代には、財政が全くゆきづま…
1789年三部会が召集されたが、議決方法をめ…
国民議会が、国王や貴族らに認められるとすぐに…
国民議会は、1789年8月4日()特権…
1790年国民議会は、()制を廃止して…
1791年6月マリー=()は、ルイ(…
マリー=アントワネットの兄、神聖ローマ皇帝(…

1791年国民議会は憲法を發布して、一院制の…
立法議会では、立憲君主主義をとる()派…
1792年オーストリア・プロイセン軍が国境に…
1792年9月、立法議会にかわって男子(…
国民公会では、下層市民の支持を受けマラー=(…
1793年1月、ジャコバン派は強引に国王の裁…
フランスは、対外的に全ヨーロッパを敵にまわし…
ジャコバン派は、1793年6月憲法を制定した…
ジャコバン派の改革は成果をあげられず、(…
1795年10月()公会は、制限選挙を…
ナポレオン=ボナパルトは、王党派の反乱を鎮圧…
1799年イギリスが、()・オーストリ…
1801年ナポレオンは、対立関係にあった(…
1804年3月民法典である()法典を公…
1805年10月、フランス海軍は、ネルソンの…
1806年ライン同盟の成立で、()帝国…
ナポレオンはイエナの戦いでプロイセンを破り、…
1806年ナポレオンは、()令(ベルリ…
ナポレオンの大陸支配は、封建的圧政から解放さ…
ナポレオン支配下のベルリンでは、()が…
ナポレオンは、ロシアの大陸封鎖令違反に対して…
ナポレオンは、諸国民戦争に敗れ退位し(…
1815年2月ナポレオンは、エルバ島を脱出し…

43. 産業革命と資本主義

イギリスでは、工業生産様式の大きな変化である…
イギリスでは、()制にしばらくの間…
18世紀のイギリスでは、穀物が騰貴したので原…
イギリスは、17世紀以来多くの()と労…
18世紀には、()工業にかわりイギリス…
1733年()=ケイによる飛び杼が発明…
1779年の()のミュール紡績機より、…
大規模な()工業の発達は、大量の原料…
1814年()が蒸気機関車をつくり、1…
イギリスは、産業革命の結果、良質で安価な工業…
イギリスに次いで1830年に独立した(…

19世紀のイギリスは、圧倒的な工業力と軍事力…
ドイツ・()では、19世紀後半に国家の…
産業革命によって大規模な()工場が出現…
資本主義社会が発達すると、経済構造が変化し人…

44. ウィーン体制

ナポレオン戦争による戦後処理のため、1814…
ウィーン会議は、オーストリア外相()の…
1815年6月、()議定書(ウィーン条…
ウィーン会議では各国の勢力均衡がはかられたが…
ウィーン会議によりオーストリアは、北イタリア…
ウィーン会議の結果成立した政治体制は、(…
自由主義・国民主義の精神は、ウィーン体制に対…
1815年ロシア皇帝()1世の提唱で、…
四国同盟は、1818年()が加盟して五…
1804年フランス領()の独立からはじ…
サン=()は、アルゼンチン・チリ・ペル…
()は、ラテンアメリカ独立運動に干渉し…
イギリス外相()もラテンアメリカ市場の…
フランスでは、()10世が、反動政策を…
イギリスでは、1829年()らアイルラ…
イギリスでは、産業革命後の人口の大きな移動に…
第1回選挙法改正によっても選挙権を得られない…
1834年()会社の中国貿易独占権の廃…
産業革命後の労働者の生活は悲惨な状態であった…
サン=()、フリーエらは、社会主義者と…
ルイ=()は、生産の国家統制を主張し、…
マルクスは、資本主義体制の没落は歴史の必然で…
フランス社会は、産業革命後()資本家が…
二月革命後に成立した臨時政府は、社会主義者…
()年12月、大統領選挙の結果ルイ=ナ…
二月革命の影響は、ドイツ・オーストリアに及ん…
1848年3月ドイツでは、()暴動が起…

45. 自由主義・国民主義

イギリスでは、第1回選挙法改正の後トリー…
1884年第3回選挙法改正では、()労…

ヴィクトリア女王時代に、1867年カナダが連…
オーストリア勢力下にあったイタリアで、二月革…
サルデーニャの王位についたヴィットーリオ=(…
サルデーニャ首相の()は、ナポレオン3…
1860年、サルデーニャは、()・ニー…
1861年3月、()領ヴェネツィアと教…
ウィーン会議でライン川下流の工業地域を得た(…
1848年の()革命の影響で、(…
ドイツ統一の主導権は、自由主義者による革命運…
ビスマルクは、()政策をとって軍備を拡…
ビスマルクは、プロイセン=オーストリア(普墺…
ナポレオン3世はプロイセンの強大化を恐れて(…
1871年()1世は、ドイツ皇帝の位に…
ビスマルクは、カトリック教徒の中央党と(…
ビスマルクは災害保険・養老保険などの(…
ビスマルクは、外交政策において復讐をねらう(…
1882年ビスマルクは、墺・伊と()同…
()3世は、クリミア戦争・()戦…
1871年普仏戦争に敗れたフランスでは、共和…
ロシアでは市民階級の成長が遅れていたが、18…
クリミア戦争後、()2世は、1861年…
ロシアで改革をこころざしていたのは、知識人階…
19世紀には()帝国の衰退に乗じて、そ…
ロシアは、農作物の市場や不凍港の獲得をめざし…
1853年ナポレオン3世が、()権をト…
1853年、英・仏はトルコと結んでロシアに宣…
バルカン半島では、自由主義の影響でスラヴ民族…
露のバルカン半島での勢力拡大に反対する英・墺…
1864年ロンドンで、第1回()が結成…
ドイツ社会民主党、フランス社会党、イギリス(…

46. アメリカ合衆国の発展と南北戦争

アメリカでは、1800年()が第3代大…
アメリカ=イギリス(米英)戦争の結果、アメリ…
第5代米大統領()はラテンアメリカ諸国…
第7代米大統領()は、庶民のための民主…

アメリカは、1803年()からミシシッ…
1840年代には「明白な天命」()を…
アメリカの領土の拡大は、西部地域の開拓を促し…
18世紀、米では綿花の栽培が急速に発達した。…
北部の自由州と南部の奴隷州は、新しい州が生ま…
1860年共和党の()が大統領になると…
1863年リンカーンは、()宣言を発し世…
南北戦争後、奴隷制は廃止され黒人に()…
1867年ロシアから()を買収し、18…

47. 19世紀のヨーロッパ文化

19世紀前半には、個人の感情や想像力を重んじ…
19世紀前半から()主義がはじまり、…
19世紀後半には、写実主義をさらに推進して人…
絵画では、ダヴィッドが古典主義的な傑作を残し、…
印象派を発展させた()・ゴーガンらが独…
ドイツ観念論は、()・シェリングに引き…
18世紀末にイギリスの()は、「最大多…
イギリスでは、アダム＝スミスの流れをくむ(…
法学では、ドイツの()による歴史法学が…
19世紀のなかごろ物理学では、()・へ…
化学では()が有機化学を開拓し、医学で…
19世紀の最大の成果は、()エネルギー…
18世紀後半イギリス人()の太平洋探検…

48. オスマン帝国の衰退

()朝はアッバース1世の時最盛期をむか…
オスマン帝国は、1683年第2次()包…
オスマン帝国は第2次ウィーン包囲に失敗した後…
()で始まった産業革命により、植民地を…
18世紀中頃アラビア半島のネジト地方を中心に…
1744年頃アラビア半島にイスラーム教の改革…
1798年()率いるフランス軍はエジプ…
ムハンマド＝アリーは1806年エジプト総督(…
ムハンマド＝()はオスマン帝国に対して…
エジプト＝トルコ戦争でロシアがトルコ、(…
1860年代からのイギリス・フランス支配に反…

アブデュル＝()1世の行政・司法・財政…
国内の立憲制への要求に応じ、1876年オスマ…
アブデュル＝()2世は()戦争勃…
オスマン帝国は()戦争に敗れ、1878…
()では18世紀にゼンド朝に代わりカー…
カージャール朝は併合されたカフカスを奪還する…
イランでは、1848年()・ロシアなど…
19世紀にカージャール朝が、()の支援…
イギリスは()の権益を守るため、アフガ…

49. 東南・南アジアの植民地化

イギリス東インド会社は、17世紀にポルトガル…
1757年()のイギリス軍が、フランス…
イギリスは、1767年からの()戦争、…
産業革命後、イギリスの()資本家は東イ…
東インド会社のインドにおける商業活動の停止に…
イギリス支配に対するインド人の反感は、185…
インド大反乱を機に、イギリスは()会社…
()は、18世紀なかば()王国を…
オランダは、19世紀末にはインドネシア全域を…
()は、16世紀後半にマニラを根拠地と…
イギリスは、18世紀末東南アジアに進出しマラ…
ベトナムでは、宣教師()の援助をうけた…
阮福映は、キリスト教徒を迫害したので(…
フランスはトンキン・アンナンとベトナムの領土…
ベトナムの宗主国の清は、仏の侵略に対して18…
18世紀なかごろミャンマーに、() (ア…
19世紀の末までに東南アジアの諸地域は、ヨー…

50. 東アジアの動乱

17世紀にロシアは、清と()条約、キャ…
19世紀なかば()が東シベリア総督にな…
ロシアは()教徒の反乱による1871年…
ロシアは中央アジアを南下して、19世紀中頃、…
清では、18世紀には官僚の腐敗などで社会が不…
イギリスは、中国の()を本国に、本国の…
清代では、交易港を()に限り、これを(…

中国では、()の密貿易が広がり大量の(…
林則徐の政策に対し、イギリスは1840年(…
1843年には、()条約・五港通商章程…
1856年広州でアロー号事件が起こったの機に…
1858年の()条約の批准書を清が阻止…
()戦争による被害は甚大で、賠償金など…
太平天国軍は反乱をおこし、1853年に南京を…
太平天国軍は、()と呼ばれる地方の義勇…
1860年ごろから清は、外国との和親や西欧文…
17世紀以後の朝鮮(朝鮮王朝)では()…
日本は、1875年に()事件を機に朝鮮…
朝鮮では、1880年代には()らの開化…
日清両国の対立は、1885年の天津条約で一時的に…

51. 帝国主義

独占資本主義の段階にはいった列強が、商品市場…
イギリスでは保守党()首相は、1875…
イギリスでは、1890年代になると社会主義者…
1914年自由党アスキス内閣は()法を…
1905年に完全独立を主張して結成された(…
フランスでは()戦争の敗北による対独報…
()年ユダヤ系の軍人がスパイ容疑で逮捕…
1905年()党が、第2インターナショ…
()2世が即位すると、1890年ビスマ…
ビスマルクによる社会主義者鎮圧法の廃止によっ…
ドイツ社会民主党の()は、修正主義を唱…
1861年の()解放はロシアの資本主義…
ロシア社会民主労働党は、1903年レーニンの…
1905年()戦争の戦況が悪くなると、…
皇帝ニコライ2世は、相次ぐ反乱に対して(…
皇帝ニコライ2世の反動政治が強まると、(…
1898年共和党の()大統領はアメリカ…
1898年共和党のマッキンリー大統領は(…
1899年国務長官ジョン=ヘイは、中国に関し…
1901年()党の()=ローズヴ…
南アメリカ独立運動の指導者のシモン=(…

1889年第1回()会議は、()…
()=ローズヴェルト大統領のとき、外交…
1910年からのメキシコ革命は、()の…
1910年、自由主義者()や農民指導者…

52. 列強のアフリカ・太平洋地域進出

1884年から()が列強のアフリカ分割…
()年エジプトに対する英・仏の干渉に反…
1881年()=アフマドに率いられた、…
()は、1890年からケープ植民地首相…
ブーア人の建てたオレンジ自由国・()共…
イギリスはエジプトのカイロ、南アフリカの(…
()年英・仏のアフリカ政策が、ナイル河…
()事件以後英仏は接近し、1904年(…
ドイツは1905年()に上陸しモロッコ…
()のレオポルド2世はスタンリーの探検…
20世紀初頭には()帝国と()共…
オーストラリアは、17世紀ごろオランダ人の(…
フィリピンでは1898年()が独立を宣…

53. アジア地域の民族運動

1895年に()は同盟関係のあった(…
ドイツは1898年宣教師殺害を口実に(…
中国は洋務運動の失敗を反省し、()・梁…
()派の康有為らの戊戌の変法は、西太后…
1898年に本格化した()の中国分割抗…
排外運動は1900年に()事件に発展し…
()戦争後の朝鮮は、1897年に国号を…
ロシアを警戒する()は、極東における共…
3回にわたって()を更新した日本は、さ…
清朝は1905年に()を廃止するなど改…
孫文はハワイで()会を、東京で(…
清の外国借款による鉄道国有化は、民族資本家に…
()年の辛亥革命(第1革命)によって(…
()は革命軍の戦力がないとみて、清朝皇…
1912年孫文は()を結成したが、(…
1885年インドの民族主義運動をしずめるため…

英は、1905年インドの宗教対立を利用して()…
1906年()の国民会議は、()…
()年カルカッタの国民会議での反英運動…
ベトナムは、()の保護国であったが()…
インドネシアでは、1911年()同盟()…
フィリピンでは、()やアギナルドラの()…
オスマン帝国の近代化をめざし、「()」…
19世紀末から()、ロシアの干渉に苦し()…

54. 第一次世界大戦とロシア革命

1890年からドイツが世界政策をかかげ、()…
()の対外進出が始まると、ロシアは18…
バルカン進出をもくろむ()は、1908…
第()次バルカン戦争は、1912年()…
第2次()戦争は、獲得した領土の配分を…
1914年()の帝位継承者が暗殺された…
ドイツは()の中立を侵してフランスに侵…
ドイツは、ロシアを()の戦いで破ったが…
ドイツでは、1918年()軍港での水兵…
1917年ロシアでは()革命が勃発した…
()は「4月()」によって、臨時…
()年レーニン・()らは十一月革…
1918年()の一党独裁政治がはじまり…
1918年連合国はソヴィエト政権打倒のため()…
ソヴィエト新政権は、ソヴィエト政権打倒をめざ…
レーニンらは社会主義の達成のため()革…
ロシア革命後、()政府は土地を無償で没…
戦時()主義に対する農民の反発は強く、…
ソ連は、1922年にドイツと()条約を…

55. ヴェルサイユ体制

1919年1月()が開かれ対()…
()年1月パリ講和会議ではイギリス全権…
1919年6月ドイツと連合国の間で()…
1919年に連合国は()とサン＝ジェル…
1920年()の十四カ条の提案に基づき…
国際連盟は()が不参加で軍事制裁力を欠…

()年ギリシア・トルコ戦争で()…
1919年()は第1次世界大戦参戦の代…
1925年()条約が結ばれ、ドイツと西…
1928年フランス外相の()とアメリカ…
1921年からアメリカ大統領()の提唱…
()会議によって形成されたアジア・太平…
第1次世界大戦後アメリカは、債務国から()…
1929年共和党の()はアメリカ経済の…
イギリスでは、1918年()挙国一致内…
イギリスでは、1924年労働党が()党…
アイルランド自治法が延期されたことに抗議して…
1923年フランスの()内閣は()…
1924年()では左派連合内閣が誕生し…
()、ローザ＝ルクセンブルクを指導者と…
()年ドイツで制定された世界で最も民主…
1923年ごろからインフレーションにみまわれ…
アメリカが中心となって()の賠償緩和を…
ドイツでは1925年から()が大統領に…
第()次世界大戦後チェコスロヴァキア…
1919年()での社会主義革命は失敗し…
レーニンの死後、世界革命論を主張する()…
1928年からの第1次()では、集団農…
()では1933年からの第2次()…
()は反対派を粛清し、独裁と個人崇拜の…

56. 反帝国主義の高まり

第1次世界大戦が始まると日本は、ドイツの租借…
二十一カ条の要求によって()人の対日感…
日本は()内閣のとき、英・米・仏と()…
()の国内では国民の政治参加の声が強…
1915年、中国では()思想を厳しく批…
()年パリ講和会議で、()の取消…
1911年()革命を契機として外モンゴ…
日本の武断政治による取締りは朝鮮民衆の民族意…
1910年の()の後、朝鮮の民衆に対す…
二十一カ条問題は日本の中国進出を警戒する米…

()は中国に対し1919年()宣…
 ()は1924年国民党を改組して、共産…
 1925年反帝国主義運動は、()事件と…
 1926年()の指揮する国民革命軍は、…
 1927年()が上海で共産党員を弾圧す…
 1928年()政府軍に敗れて、奉天に帰…
 1927年中国()党は、国民党と分離し…
 ()は第1次世界大戦後の自治を与える約…
 インド独立運動の主体となったインド()…
 インド独立運動は、()派だけでなく全イ…
 1929年に()はガンディーの後を受け…
 イギリスがインド独立運動の指導者を()…
 ()は1922年()党を組織し、…
 第1次世界大戦後、()帝国を打倒して共…
 1923年連合国と()条約を締結してト…
 エジプトでは、1922年()党を中心と…
 イギリスはエジプトの独立後も、()運河…
 ()朝は、イギリス・ロシアに圧迫されて…
 イブン=()はワッハーブ王国の再興をめ…
 1920年()の委任統治領となり、19…
 1920年()の委任統治領となり、19…
 イギリスは1915年アラブ人の戦争協力を得る…
 ()は、1925年ベトナム青年同志会を…
 1930年代になると、タイ王国のチャクリ朝の…
 ()はインドネシア独立運動の指導者で、…
 1920年()社会民主同盟を改称してイ…

57. ファシズム体制の誕生

1929年10月ニューヨークの株式市場(ウォ…
 1932年に()=ローズヴェルトが大統…
 ()=ローズヴェルト大統領の実施した政…
 ()=ローズヴェルト大統領は対外的には…
 世界恐慌の影響で()も不況に陥り、経済…
 英は、1932年()連邦会議をひらき、…
 1932年には、恐慌の影響が()にもあ…
 1935年()の脅威に対抗するため、コ…

第1次世界大戦後の危機を()主義や(…
 ファシズムはファシスト=()、ナチス=…
 ()は、第1次世界大戦の戦勝国であった…
 1922年ムッソリーニは、「()」を行…
 ()は、ファシスト党最高決議機関である…
 ムッソリーニは1924年()を併合し、…
 イタリアも世界恐慌の影響を受けると、国民経済…
 ()の党首として、ヴェルサイユ体制の打…
 1932年の選挙で()は第1党となり、…
 ナチスは()、トーマス=マンなどユダヤ…
 ()年3月に成立した議会で、ナチス新政…
 1934年()大統領が死去するとヒト…
 ヒトラーは1933年軍備平等権を主張して国際…
 ()は1935年仏ソ相互援助条約を理由…
 日本でも()恐慌の影響を受けて経済界が…
 中国東北地方(満州)では、()が国民政…
 国際()が、()調査団を派遣して…
 ()調査団の調査の結果、日本の行動は侵…
 1931年()は瑞金を中心に中華ソヴィ…
 ()の途上、中国共産党が内戦の停止と統…
 1936年()は蒋介石を監禁する(…
 1937年日本は()事件を機に侵略を拡…
 日中戦争が始まると華北や南京を占領したが、1…
 1940年日本は()建設をかかげ、重慶…
 スペインでは()派が内閣を組織したが、…
 1936年スペイン内戦では、()=ロー…
 1939年()が陥落してフランコ側の勝…
 人民戦線の結成や国際的な共産主義運動に対抗し…

58. 第二次世界大戦

()年3月ドイツは()を併合し、…
 イギリス首相の()はナチスの反ソ的な態…
 1938年()問題について、独・伊・英…
 1939年ドイツは()を解体し、その大…
 ()・フランスは、()の安全保障…
 1939年9月1日ドイツは()に侵攻し…

()は電撃戦によってポーランドを圧倒し…
1940年ドイツはパリを占領すると、フランス…
1940年フランスがドイツに降伏すると、(…
1940年イギリスでは()が首相になり…
1941年()戦が始まったが、ソ連はイ…
1941年3月アメリカは()法を成立さ…
()戦争の長期化によって軍事費が窮乏し…
1941年日本は()中立条約を結び、フ…
1941年12月8日、日本は()の真珠…
日本は「()圏」を唱え、ジャワ・スマト…
()は元来工業基盤が弱く、国力はアメ…
1943年()は日本をガダルカナル島か…
1943年イタリアでも、()は国王に解…
()年ローズヴェルト・チャーチル会談で…
ローズヴェルト・チャーチル・スターリンによる…
1945年2月()会談で戦後のドイツ処…
1945年2月アメリカはフィリピンを奪還し、…
()年8月広島・長崎に()が投下…

59. 戦後新秩序の形成

1941年()とチャーチルの会談の結果…
1944年()=オックスで、米・英・ソ…
()年50カ国が参加した()会議…
国際連合は、()に本部を置き、国際平和…
()は全加盟国で構成される()の…
常任理事国の歩調をあわせるために()が…
戦後の国際経済や金融協力体制も協議され、19…
1945年8月の()協定で米・英・ソ…
()は4カ国の共同管理のもとにおかれ、…
イギリスでは、1945年()党が政権を…
フランスでは、()が臨時政府を組織した…
()では、1946年国民投票の結果(…
戦後の()諸国はソ連を背景とした東欧各…
第2次世界大戦後、降伏した()は連合軍…
戦後の日本の改革は、軍隊の解散、()の…
1943年の()会談で戦後の独立が了承…

朝鮮の独立をめぐって1948年()を大…
抗日運動が最も激しかった()では、アメ…
ベトナムで、()の敗北後ハノイで独立を…
1949年()は、阮朝最後の王(…
1954年()戦争に敗れたフランスは、…
フランスの撤兵にともない、ベトナム()…
()領東インド諸島では、1945年(…
イギリス領のマライ半島は1957年()…
インドでは、統一インドを主張する()ら…
1947年イギリス最大の植民地である(…
1948年()は暗殺されたが、1950…
イランにおいて、石油の採掘・販売を独占してき…
()石油会社の国有化を実行したため、イ…
()年エジプトなどアラブ7カ国は(…
1948年パレスチナ分割案を受け入れたイスラ…
エジプトでは1952年()・ナセルらの…
()革命で国王を追放し、1953年共和…
中国では、1948年()党の指導者(…
中国共産党の指導者()は新民主主義論を…
()年中国共産党は民主勢力を()…
1950年中華人民共和国の首都は()と…
1950年、()はモスクワで中ソ友好(…

60. 東西対立の激化

1946年フルトン市で()は、バルト海…
第()次世界大戦後の、直接的な軍事衝突…
1947年アメリカは、()・トルコへの…
()年6月アメリカによるヨーロッパの経…
1947年()を中心として東欧9カ国の…
()年ソ連と東欧6カ国の間で結ばれた経…
1948年2月()でクーデターがおき、…
1948年6月米・英・仏のドイツ西側管理下で…
1949年ドイツの西側管理区は、ドイツ連邦共…
ソ連管理区もドイツ()共和国が成立した…
1950年朝鮮半島の北緯38度線付近で始まっ…
冷戦は中華人民共和国の成立と()戦争に…

1951年()講和会議で平和条約が調印…
()年サンフランシスコ講和会議で、平和…
1951年アメリカは()・ニュージーラ…
1955年には()条約機構(中東条約機…
1955年にソ連は、()の包圍網に対し…

61. 第三世界と多極化への動き

1954年南アジア5カ国の首脳が()に…
エジプトの()大統領は、近代化推進のた…
1956年英・仏・()は、エジプトの(…
1954年アルジェリアは()からの独立…
1957年()を指導者として、ガーナが…
1961年()・インド・エジプト・イン…
朝鮮半島では、1960年代に革命運動が起き(…
1965年スカルノ大統領は、()事件を…
1967年インドネシア・マレーシア・フィリ…
ラテンアメリカ諸国は、1947年()会…
1951年中米では()左翼政権が成立し…
1959年()の指導するキューバ革命が…
1962年ソ連が()にミサイル基地を建…
1949年米・ソの対立の深まりのなかで、(…
国際世論は核戦争の危険を警告し、核兵器の実験…
()年、米・英・ソで地下実験を除く核実…
1963年以降、フランス・()・インド…
1953年スターリンの死後、ソ連は外交政策の…
1953年アメリカ大統領に共和党の()…
1956年ソ連共産党第20回大会で、(…
スターリン批判直後、()では1956年…
ポーランドでは、1956年()で反乱が…
ハンガリーでも1956年反()暴動が起…
東ドイツでは1950年代から、農業()…
1958年から中国では、工業生産の増大をはか…
1959年毛沢東にかわって、国家首席には(…
1960年代からは()対立により社会主…
1966年代以後、中国における()批判…
戦後の復興をめざす西ヨーロッパでは、フランス…

ヨーロッパ()共同体(ECSC)は、ヨ…
フランスは()のもとで第5共和政を発足…
ド＝ゴールの第5()は、アメリカ・イギ…
西ドイツでは()首相の辞任後、議会の全…
英は1960年ヨーロッパ()連合(EF…

62. 東西超大国の動揺

1961年アメリカでは()大統領が、ニ…
1964年()大統領は、()法を…
()大統領の独裁に対する批判が強まり、…
()米大統領はベトナム民主共和国に対し…
1969年()米大統領は、ベトナムから…
1975年北ベトナム軍と解放戦線は、(…
カンボジアでは、1970年に()元首が…
ソ連では1964年()が解任され、コス…
1960年代ルーマニアは独自路線を歩んでいた…
自由化の波及をおそれた()は、1968…
1956年ブダペストで()事件(反ソ暴…

63. 冷戦終結と平和共存への動き

1960年代後半には、米ソの間で()の…
()年核兵器の現状を凍結する協定が結ば…
1982年()削減交渉(START1)…
1969年西ドイツでは、()内閣が成立…
1972年、米・英・仏・ソは、()の現…
()書記長の提案により、1975年全欧…
西ヨーロッパ()党のなかには、ソ連の革…
ヨーロッパ最後の植民地帝国といわれた(…
スペインでは、()の権威主義体制が維持…
1971年、ニクソン大統領は()をだし…
()年ニクソン大統領は中国を訪問し、(…
中国では文化大革命による混乱のなか1976年…
華国鋒首相は文化大革命推進者の江青ら(…

64. 世界経済の変化

1964年()機構(PLO)が設立さ…
1969年に、()がパレスチナ解放機構…
1970年エジプトの()大統領が死去す…

サダトは()の仲介で、1979年、(…
1982年イスラエルは()に侵攻して、…
1973年第()次中東戦争のとき、アラブ…
アラブ()機構(OAPEC)は、原油…
イランでは、()2世のもとで1963年…
イラク大統領サダム=()は、国境問題の…
()共同体は着実に発展し、1973年に…
1980年代になると西ヨーロッパでは独自の政…
1970年代アメリカは貿易収支も赤字になり(…
世界同時不況から、アメリカは「双子の赤字」と…
アジア・アフリカの独立国は、南())と…
()問題に対し、1964年先進国が指導…
1995年、GATTを解消し、国際貿易の紛争…
1970年以降、韓国・()・香港・シン…
発展途上国は南北格差是正のため、自国資源に対…
1970年、チリで()政権を成立させた…
1979年、中米の()で独裁政権が倒さ…
大韓民国では、1979年()大統領が暗…
韓国では1988年()が大統領に就任す…
()ではマルコス大統領の失脚後(…
1971年東パキスタンの難民をめぐる、(…
インド共和国の第3代首相の()=ガンデ…
1980年アフリカの()では、白人支配…
南アフリカ共和国は、国際世論の批判のなかで独…
アフリカの()では、1974年軍部によ…

65. 現在の社会

1993年、アメリカの()大統領の仲介…
1987年に()地区でおこった事故をき…
スリランカでは、1983年より、ヒन्दゥー教…
トルコやイラン、イラク、シリアの国境に接する…
ベトナム戦争後、カンボジアでは()指導…
1979年()は反ポル=ポト派を支援し…
民主カンプチア(ポルポト派)を支援する中国は…
1986年にベトナムで掲げられた、経済再建政…
カンボジアでは、内戦が続いていたが、1991…

ミャンマーでは、1990年の総選挙で、(…
中国で1989年学生・労働者が集まり民主化を…
中国は、1997年に、イギリスから()…
1980年ポーランドの()の指導のもと…
1985年()は書記長となり、ソ連の停…
1986年ゴルバチョフは() (改革)を…
ゴルバチョフは1990年()制、また複…
ソ連の改革は、連邦を構成する諸民族の分離・独…
ソ連は1988年には、()撤兵を表明し…
ロシア連邦で2000年に第二代、2012年に…
()年のソ連崩壊後、ロシア連邦を中心に…
1989年10月東ドイツでは()書記長…
ハンガリー・チェコスロヴァキア・ブルガリアで…
ポーランドでも1990年()が大統領に…
1992年、()条約が調印され、(…
2009年にEU加盟国ギリシアの財政危機に端…
1992年3月に()がユーゴスラヴィア…
セルビアでは、アルバニア系住民が多数を占める…
1992年に大韓民国にはじめて()政治…
韓国で、1997年()が大統領となると…
2013年、韓国で初の女性大統領として(…
北朝鮮では、1997年に()が最高指導…
2018年、金正恩は、韓国の()大統領…
台湾では、1988年、親日家の()が総…
2016年の総統選挙で、民進党の()が…
アフリカ中央部に位置する国()で、19…
2002年、アフリカ統一機構(OAU)を解散…
1992年に、アメリカ、カナダ、メキシコによ…
アメリカでは、共和党の()大統領からブ…
2001年9月11日、イスラーム系過激派組織…
2001年10月7日、アメリカは、同時多発テ…
2021年8月30日、アメリカ軍は、(…
2003年3月、大量破壊兵器保持を理由として…
2008年に、アメリカ合衆国で、低所得者向け…
2009年に、初のアフリカ系アメリカ人の(…

66. 現在の文化と環境問題

物理学は()が相対性理論を提唱して発展…
20世紀になって()学は医学の分野でも…
1903年()兄弟が発明し、第1次世界…
ニーチェが近代()主義を批判し、それを…
フロイトは()学を唱え、また()…
ドイツのマックス=()は社会学などから…
フランスの作家で「ジャン=()」を著し…
ドイツの作家で、叙情的でヒューマニスティックな…
中国の()は小説、「阿Q正伝」を記した…
文学や芸術でも主観を重視する()派、野…
19世紀末にアフリカ系アメリカ人コミュニティ…
1990年代に入り、ヒト、モノ、カネ、情報が…
現代文明の発達によって、エネルギーや資源の大…
地球環境の問題として、二酸化炭素などの温室効…
1980年より、個人が使うコンピュータである…